

犯罪被害者等の支援

谷 新一議員

問 県内では犯罪被害者等支援条例が4自治体で制定されているが、市の考えは。

答 県内市町村の動向を注視し、犯罪被害者等の支援の在り方を考えていく中で検討する。

問 警察、犯罪被害者援助センター等との連携、情報共有は。

答 DV被害者支援は、東入間警察署等と情報共有を図り連携・協力体制を構築している。他の犯罪被害者支援についても当事者の状況に応じて警察、関係機関等と連携を図っていく。

防災士との連携

問 災害時における防災士との連携の在り方は。

答 今後、懇談会等を実施し、意見交換



見守りボランティア活動

地域の見守りボランティア活動

等を踏まえて検討する。問 交通事故や事件等に巻き込まれないための取り組みは。

答 各小学校の防犯会議で地域の方と情報共有を図り、一律の安全指導マニュアル作成ではなく、各校の実態に応じた活動内容の共通理解を推進していく。

元気・健康メニューの認知度向上を

小林 憲人議員

問 福バルとの連携を。答 福バルのチラシ等に元気・健康メニューの協力店と明示をする等、周知及びPRを強化する。問 本庁舎の地下食堂での実施は。

答 検討したい。



ヘルシーで美味しい!協力店の元気・健康メニュー

過不足ない地域福祉の進展を

問 福祉サービスの発掘や事業者へのつなぎ等、生活支援コーディネーターとコミュニティソーシャルワーカーの役割が重なる。関係の整理は。

答 役割が関連する部分があるので、多機関協働による包括的支援体制の中で検討を行う。

認知症サポーターからその先を見据えて

問 認知症サポーターの育成に留まらず、そこからステップアップできる体制を。

答 介護予防サポーターや介護支援ボランティア等、様々な事業で活躍できるように働きかけを行っていく。

今後の公共施設のあり方は

問 総合管理方針や個別の施設計画も必要では。答 他市の状況を勘案しながら進めていく。

水道事業における送水能力改善で変わるまち

島田 和泉議員

問 3階建て建物への送水対応の課題は。答 市内には石綿セメント管が多く残り、現在は増圧ポンプの設置を認めていない。今後、石綿セメント管の更新状況等を踏まえ許可について検討する。

イベントや他市町村の災害派遣など様々な分野で活用できる。

狭小住宅の空き家対策

問 解体費用の助成で更地の活用を。答 費用対効果など今後研究する。

問 宅建業者との協力を図るべきでは。答 空き家バンクを設置。連絡調整会議を開催するなど連携を強める。

問 金融機関との協力を進めるべきでは。答 空き家解体ローンの創設、利活用のための特別融資など、空き家等対策計画策定の中で検討することを位置付けていく必要がある。

低い土地の浸水対策

問 調整池などの計画的整備を図り、低い土地に雨水を集中させない対策を。



大井総合支所

蜂や蛇などの対策の現状と今後の展望

問 高齢世帯へのサポート等の可能性は。答 市では行っていないが、所有者や管理者の駆除が期待できないケースなど状況に応じた対応を図ることは大切であると認識している。

問 高年齢者への健康増進、地域活性化の観点では有効な策と考えるが、安全面での課題がある。

問 災害派遣トイレの有効性をどう考えるか。答 可搬性トイレの設備導入は一定の有効性が認められる。平時にも市の

クラウドファンディングで災害派遣トイレを



災害派遣トイレ

免許証自主返納者に健康増進事業を

問 高年齢者ドライバーの運転免許証自主返納時に電動自転車の購入補助をして、健康増進と地域活性化につなげる。答 高年齢者への健康増進、地域活性化の観点では有効な策と考えるが、安全面での課題がある。

滝、中丸地区の雨水排水計画

足立 志津子議員

問 新河岸川の排水規制があるとポンプ排水は、大量降雨時には機能しない。用水路の活用や調整池の確保で、浸水を最小限に抑える対策を。答 これから明らかになる内水解析の結果を見極め、考えたい。

福岡江川北側の雨水貯留浸透施設の整備

平成28年12月議会の



台風の被害を受けた中丸地区

防災無線受信機

問 他自治体で実施しているように、防災無線の内容がわかる防災無線受信機の戸別給付を。答 価格など課題が多く、実施は困難と考える。

スポーツ推進計画

小高 時男議員

問 スポーツを通して青少年健全育成と次の世代を担う指導者の育成の仕組みづくり、また生涯スポーツの推進等、乳幼児からスポーツに親しむ機会をつくらせたい。答 スポーツ少年団との関わりは。

自治組織集会所施設使用料の格差の是正

問 合併以来、使用料の格差が続いているが、格差の是正をどのように進めるのか。答 市民負担が均一でない状況は合併以来最大の課題として重く受け止めている。利用者による受益者負担も一定程度考慮し、地域コミュニティ活動が滞ることがないよう、市民の意見を伺い検討していく。

支援学校と支援学級の住み分け

問 保護者の要望をどの程度聞き入れるのか。答 保護者の希望を聞き意見を尊重して決めている。

